



2020年5月スタート 国連外国語講座 受講者募集!!

当協会主催の経験豊富な外国人講師による充実した授業です。ぜひご参加ください!

中部地区（静岡市） 英会話

講座名	クラス内容	開講期間	定員
英会話入門	旅先で使える簡単な英会話	5月11日～7月13日（毎週月曜日）	20名×1クラス
英会話初級	簡単な文から積極的に話すことが目標		20名×1クラス
英会話初中級	話せる語彙や文法を増やす練習など	5月12日～7月14日（毎週火曜日）	20名×1クラス
英会話中級	自己感情表現やスムーズな日常会話	5月13日～7月22日（毎週水曜日） ※6月24日は休講	20名×2クラス
英会話上級	時事問題などを流暢にディスカッション	5月14日～7月16日（毎週木曜日）	20名×2クラス

英会話クラス 共通事項

※各クラスの日程は、天候、会場等の都合により変更となる場合があります。

開講時間：18：45～20：45（10分程度の休憩含む）

受講料：16,000円（当協会会員15,000円）★プリント代もしくはテキスト代（2,000円程度）別途

開講場所：静岡県教育会館（静岡市葵区駿府町1-12 ★北街道沿い、セノバ向かい）

中部地区（静岡市） ハングル

講座名	クラス内容	開講期間	開講時間	定員
ハングル入門	文字や単語、簡単な文を使って会話	5月15日～7月17日（毎週金曜日）	19：00～20：45	20名×各1クラス
ハングル初級	正しい文法で正確な意思の疎通が目標	5月12日～7月14日（毎週火曜日）		
ハングル中級	日常会話に加え読解や文章作成	5月13日～7月15日（毎週水曜日）	15：00～16：45	15名×1クラス

ハングルクラス 共通事項

※各クラスの日程は、天候、会場等の都合により変更となる場合があります。

開講場所：静岡県観光・国際交流センター（静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2階）

受講料：16,000円（当協会会員15,000円）★テキスト代（3,000円程度）別途

東部地区（沼津市） 英会話

講座名	クラス内容	開講期間	定員
英会話初級	簡単な文章で話せるようになることが目標	5月12日～7月14日（毎週火曜日）	20名×1クラス
英会話初中級	実用的に使えるフレーズを増やす	5月14日～7月16日（毎週木曜日）	20名×1クラス
英会話中級	表現力を高め、自然な英語を目指す	5月15日～7月17日（毎週金曜日）	20名×1クラス
英会話上級	幅広いトピックについてディスカッション		20名×1クラス

英会話クラス 沼津会場 共通事項

※各クラスの日程は、天候、会場等の都合により変更となる場合があります。

開講場所：沼津労政会館（沼津市高島本町1-3）

開講時間：18：45～20：45（10分程度の休憩含む）

受講料：20,000円（当協会会員19,000円）★テキスト代（3,000円程度）別途 ※上級クラスはテキスト代不要。

申込方法：静岡県国際交流協会ホームページ（<http://www.sir.or.jp/>）の申込フォームよりお申し込みください。

または電話、E-mail、Faxいずれかの方法で下記①～⑦をご連絡ください。

①希望講座 ②希望会場 ③氏名（フリガナ） ④住所 ⑤日中の連絡先

⑥返信先のE-mailまたはFAX番号 ⑦当講座受講経験の有無

申込期限：令和2年4月13日（月） ※定員に達し次第終了

申込先：（公財）静岡県国際交流協会 Tel：054-202-3411 Fax：054-202-0932 E-mail：kokuren@sir.or.jp

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2階 URL：<http://www.sir.or.jp/>

2020年度

「アース(明日)カレッジ」 センセイ募集

～アース(明日) カレッジって??～

「アース(明日) カレッジ」は、「誰もがセンセイ 誰もがセイト」をコンセプトに、みなさんの近くに住む「まちのセンセイ」が開く学びの場です。毎年、静岡市葵生涯学習センター（アイセル21）を会場として、参加者との体験やワークショップなどを通して、延べ1,000人以上の方が「まちの学び」を楽しんでいます。

年代や性別、国籍、多様な背景、多彩なテーマを持つ人々がセンセイとなり、セイトとなり、ともに授業を楽しみます。次の年はセイトがセンセイに、センセイがまたセイトに、しずおかにどんどん学びの輪が広がっていきます。アース(明日) カレッジはこんな市民の学校なのです。

今回、日頃から興味、関心を持っている活動や得意な分野について、いろいろな学びをご提案してくださるセンセイを募集します。

開催日：2020年7月18日(土)、19日(日)

10:30～11:30 12:30～13:30 14:00～15:00

※全50講座程度のうち、60分の講座を1つ

会場：静岡市葵生涯学習センター（アイセル21）

募集人数：20名（20グループ）程度（年齢・国籍は問いません）

営利活動や宗教・政治的な活動を目的としないボランティアで事業の趣旨に賛同してくださる方

講座の実施に際し、自力で準備と運営を行い、安全管理における責任を持てる方

内容：ご自身の得意分野等について、60分の講義、ワークショップをお願いします。

参加者の体験を重視し、参加型、グループでの話し合いを持つなど参加者同士が関わる工夫をお願いします。

当日は幅広い年代の方が参加しますので、ご承知おきください。

申込方法：アース(明日) カレッジ2020 講師申込書に必要事項を記入し、郵送またはメールにてお申込みください。

申込締切：2020年4月10日(金)必着

書類の内容を確認の上、審査を行います。

結果は2020年4月30日(木)までにメールにてお知らせいたします。

その他：・お客様の参加費は原則無料をお願いいたします。（一部、材料費等、参加者に実費負担していただくことは可能ですが、あまり高額にならないようにご配慮ください。）

・講師謝礼金はございません。

・事前説明会を行いますので、必ずご参加ください。参加できない方はご相談下さい。

・ご不明な点は、お気軽に下記連絡先にお問い合わせください。

問合せ先：静岡市葵生涯学習センター 〒420-0865 静岡市葵区東草深町3番18号

電話番号：054-246-6191 ホームページ：<https://sgc.shizuokacity.jp/>

主催：静岡市葵生涯学習センター 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団／(公財)静岡県国際交流協会／NPO法人開発教育FUNCLUB／静岡県



フジドリームエアラインズ
☎ 0570-55-0489 ※IP電話または海外・国際電話などの場合は、054-903-3110をご利用ください。
URL www.fujidream.co.jp



エスパルスドリームプラザ
☎ 054-354-3360
URL www.dream-plaza.co.jp



フェルケル博物館
☎ 054-352-8060
URL www.suzuyo.co.jp/suzuyo/verkehr/



鈴与グループ

「令和元年度静岡県医療従事者を対象とした医療通訳研修会」

当協会では、静岡県の委託を受けて、外国人医療支援事業の一環として、県内医療通訳体制整備にかかる医療通訳フォローアップ研修会の実施や医療機関への医療通訳者の紹介業務等を行っております。

併せて、医療機関において医療通訳受入のための環境整備・留意点等にかかる医療従事者を対象とした研修会を実施しております。

今回は、外国人受診者対応に重要な役割を担う医療ソーシャルワーカーの皆様を対象に開催します。

日 程：令和2年3月28日(土) 13:30～16:00

場 所：ぬまづ健康福祉プラザ（サンウエル沼津）大会議室
(沼津市日の出町1-15 沼津駅北口より徒歩15分)

13:30～13:45	静岡県医療通訳体制整備事業説明	静岡県 くらし・環境部 県民生活局 多文化共生課
13:45～14:00	静岡県外国人の概況と医療機関の紹介状況について	公益財団法人 静岡県国際交流協会
14:00～16:00	講演 「医療通訳の活用法、医療通訳の役割、 医療通訳の正しい活用法、外国人患者との関わり方など」	榛原総合病院 臨床修練医 フランシア カンボス氏

対象者：静岡県医療機関に勤務する医療ソーシャルワーカー、その他医療従事者、医療通訳者等 20名程度

申 込：下記まで

主 催：静岡県（実施団体：公益財団法人静岡県国際交流協会）

協 力：静岡県MSW協会東部地区研究会

申込・問合せ（公財）静岡県国際交流協会 〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2階
Tel 054(202)3411 Fax 054(202)0932 e-mail info@sir.or.jp

English

Consultation with an Administrative Scrivener for Foreign Residents (Hamamatsu)

Free consultation services with an administrative scrivener. You can consult about setting up a company, residency/visa, vehicle registration, citizenship, marriage, divorce, traffic accidents etc. Consultation is available in Spanish (Sun), Portuguese (Fri, Sun), Indonesian (Sun), English (Fri) and Chinese (Fri). For other languages please contact HICE.

- When: March 8, Sunday and March 20, Friday, 13:00～16:00
- Where: Hamamatsu Intercultural Center (2-1 Hayauma-cho, Naka-ku, Hamamatsu City)
- Who can consult: Foreign residents and/or their representative
- Fee: Free
- Limit: 4 people (Please apply)
- Application: Please apply by phone or by visiting the office three days before.
- Contact: HICE
- Phone: 053-458-2170

Legal Consultation for Foreign Residents (Hamamatsu)

Free consultation services with a lawyer. Interpretation is available in English, Portuguese and Tagalog on Thursday and Portuguese and Vietnamese on Saturday. For other languages please

contact HICE.

- When: March 14, Saturday and March 26, Thursday, 13:00～16:00 (Reception: 9:00～12:00)
- Where: Hamamatsu Intercultural Center (2-1 Hayauma-cho, Naka-ku, Hamamatsu City)
- Who can consult: Foreign residents and/or their representative
- Fee: Free
- Application: Reservations cannot be made over the phone. Please proceed to the venue directly on the day. First come first served basis. Everyone might not be accommodated if there will be a lot of people who wish to consult.
- Contact: HICE
- Phone: 053-458-2170

Free Consultation for Foreigners (Shizuoka)

Free consultation services with an administrative scrivener and a lawyer. Consultation is available in Portuguese, Spanish, Filipino, English, Vietnamese, Chinese, Indonesian and Korean.

- When: March 25, Wednesday
- Where: SIR Conference room (14-1 Minami-cho, Suruga-ku, Shizuoka City, Mizunomori Bldg., 2F)
- Who can consult: Foreign residents and their representative, Japanese who has dealings with foreign residents
- Fee: Free
- Limit: 3 people
- Application: Please register in advance by contacting us.

- Others: Please contact us also the day before the consultation for confirmation of reservation. Please contact us if you wish to cancel your reservation. If there is a cancellation, application on the day of consultation will be accepted.
- Contact: Shizuoka Association for International Relations (SIR)
- Phone: 054-204-2000
- Email: sir07@sir.or.jp

イベント・催し

EVENTS & ENTERTAINMENT

アイルランド・フェスティバル in ふくろい

昨年のラグビーワールドカップでは、アイルランド代表と日本代表が、エコパスタジアムを会場に素晴らしい試合を行いました。今年は、アイルランドのオリンピック選手団が袋井市で事前キャンプを行います。身近になったアイルランドの文化が体験できる「アイルランド・フェスティバルinふくろい」にぜひご参加ください。

- 開催日／3月7日 土曜日
- 時間／11時00分～15時00分
- 会場／袋井市役所（袋井市新屋1-1-1）
- 対象／どなたでもご参加いただけます。
- 申込方法／直接会場にお越しください。
- 連絡先／袋井市役所 国際交流室
- 電話番号／0538-44-3138
- メールアドレス／kikaku@city.fukuroi.shizuoka.jp

第21回 下田国際友好コンサート

- 開催日／3月8日 日曜日
- 時間／13時30分～（13時00分開場）
- 会場／下田市民文化会館 大ホール（下

田市4-1-2)

- 対象／どなたでもご参加いただけます。
- 参加費／無料
- 申込方法／直接会場にお越しください。
- 連絡先／下田市振興公社
- 電話番号／0558-23-5151

第17回 日本語スピーチコンテスト

外国人市民の声を聞く、日頃の日本語学習の成果を発表する場を提供する事を目的としたスピーチコンテストです。

- 開催日／3月15日 日曜日
- 時間／13時30分～16時30分
- 会場／ラ・ホール富士 多目的ホール（富士市中央町2-7-11）
- 対象／どなたでもご観覧いただけます。
※出場者の募集は終了しました。
- 参加費／入場無料
- 申込方法／直接会場にお越しください。
- 連絡先／富士市国際交流協会
- 電話番号／0545-55-2704
- メールアドレス／fj-air@div.city.fuji.shizuoka.jp

島田市国際交流協会 フレンドシップパーティー2020

異文化体験に興味がある方必見!! 会場が外国人であふれ、なかなか着られない振袖の試着や、フラワーアレンジメントで日本文化を体験します。他国の方の民族の踊りもありますので、日本人も楽しめます。

- 開催日／3月22日 日曜日
- 時間／13時00分～15時30分
- 会場／島田市金谷公民館みんくる（島田市金谷代官町3400）
- 対象／どなたでもご参加いただけます。
- 参加費／外国人無料、日本人300円（中学生以下無料）
- 定員／150人
- 申込方法／直接会場にお越しください。
- 連絡先／島田市国際交流協会
- 電話番号／0547-36-7390
- メールアドレス／kouryu@city.shimada.lg.jp

講座・講演会

LECTURE

U-ToC日本語教室発表会 日本で気になる、あのことについて調べました!

外国人学習者が日本に住んで気になっていたことについて、アンケートやインタビューをして、調べました。日本人が普段気に留めていないことでも、外国の人は疑問に感じていることが多く、「なるほど〜!」と思うテーマがあるはず。ぜひ、この機会に発表を聞いてみませんか?

- 開催日／3月24日 火曜日
- 時間／10時30分～12時00分
- 会場／浜松市外国人学習支援センター（浜松市西区雄踏町宇布見9611-1）
- 参加費／無料
- 申込方法／資料準備のため、必ず事前にお申し込みください。電話または来所にてお願いします。
- 連絡先／浜松市外国人学習支援センター（U-ToC）
- 電話番号／053-592-1117

ボランティア日本語講師養成講座

この養成講座は、主に市内在住外国人希望者に原則直接法で日本語教育を支援するために、実際の教材を使用する日本語教授法及び授業の実践をするものです。修了後、清水日本語交流の会の会員として、定期コース・学校ボランティア・企業レッスン・プライベートレッスン等活動の場が多々あります。

- 開催期間／5月22日～10月30日（金曜日開催、全10回、詳細な日程はお問い合わせください。）
- 時間／19時00分～20時30分
- 会場／辻生涯学習交流館 2階講義室（静岡市清水区宮代町5-75）
- 対象／静岡市内在住の外国人にボランティアで日本語を教えてみたい方
- 参加費／10000円（別途教材費 1800円程度）
- 定員／20人
- 申込方法／メールにてお申し込みください。
- 連絡先／清水日本語交流の会
- メールアドレス／shimizu.nihongo.1990@gmail.com

海外・留学情報

FOREIGN COUNTRIES INFORMATION

アメリカ ライス大学学生の ホストファミリー 募集

ライス大学（アメリカ ヒューストン）では、大学授業として日本語習得プログラム“Rice in Japan”を実施します。長期間ホームステイしながら、平日は静岡産業大学の一室を借り、日本語等の勉強をすると共に、市民との交流や施設訪問などの活動も実施します。

- 受入期間／5月19日～6月30日
※事業説明会／3月28日
前半／5月19日 夜～6月9日 朝
後半／6月9日 夜～6月30日 朝
- その他／詳細はお問い合わせください。
- 申込方法／電話、ファックス、メール、または事務局までお申し込みください。
- 申込期間／3月9日～4月7日
- 連絡先／藤枝市国際友好協会
- 電話番号／054-270-3232
- ファックス番号／054-646-3330
- メールアドレス／fifs1984@cup.ocn.ne.jp

はじめての留学 個別相談会

アズ留学センターの個別相談会で、留学の夢に一つ近づいてみませんか? 語学留学やホームステイ、ワーキングホリデーに興味があるけれど具体的にどうしたら良いのか分からない方にもお勧めです。年齢や英語力を問わず、1週間から参加可能なプランもあります! まずはお気軽にご相談ください。

- 開催日／3月28日 土曜日
- 時間／11時00分～13時00分および14時00分～17時00分の間で30～60分
- 会場／アズ留学センター内（浜松市中区板屋町101-22 小川ビル3階）
- 対象／留学に興味のある方
- 参加費／無料（要予約）
- 申込方法／前日までにメールか電話でご予約ください。
- 連絡先／アズ留学センター
- 電話番号／0800-888-6188
- メールアドレス／sodan@az-ryugaku.com

相談会

CONSULTATION

外国人のための行政書士無料相談（浜松）

会社設立、在留、自動車登録、国籍、結婚、離婚、交通事故などの相談に対応します。

- 開催日／3月8日 日曜日、3月20日 金曜日
- 時間／13時00分～16時00分
- 会場／浜松市多文化共生センター（浜松市中区早馬町2-1 クリエイト浜松4階）
- 対象／外国人およびその代理人、外国人と利害関係のある日本人
- 通訳／金曜日（ポルトガル語、英語、中国語）、日曜日（ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語）、その他の言語はご相談ください。
- 参加費／無料
- 定員／各回4人（要予約）
- 申込方法／事前に申し込みが必要です。
3日前までに電話または来所にてお申し込みください。
- 連絡先／浜松国際交流協会（HICE）
- 電話番号／053-458-2170

外国人のための無料弁護士相談（浜松）

弁護士に無料で相談ができます。

- 開催日／3月14日 土曜日、3月26日 木曜日
- 時間／13時00分～16時00分（受付は9時00分～12時00分）
- 会場／浜松市多文化共生センター（浜松市中区早馬町2-1 クリエイト浜松4階）
- 対象／外国人およびその代理人、外国人と利害関係のある日本人
- 通訳／木曜日は英語、ポルトガル語、タガログ語、土曜日はポルトガル語、ベトナム語に対応します。その他の言語はご相談ください。
- 参加費／無料
- 申込方法／電話での予約はできません。
当日直接会場にお越しください。受付順に相談します。希望者多数の場合は相談できない場合もあります。
- 連絡先／浜松国際交流協会（HICE）
- 電話番号／053-458-2170

外国人のための無料相談会

行政書士と弁護士に相談ができます。

- 開催日／3月25日 水曜日
- 時間／10時00分～12時00分（行政書士）
13時00分～16時00分（弁護士）
- 会場／静岡県国際交流協会 会議室（静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2階）
- 対象／外国人およびその代理人、外国人と利害関係のある日本人
- 通訳／ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、英語、ベトナム語、中国語、インドネシア語、韓国語
- 参加費／無料
- 定員／各3人
- 申込方法／事前に連絡して申し込んでください。空きがあれば、当日申し込むこともできます。
- その他／相談日の前日に確認の連絡をお願いします。キャンセルの場合はかならず連絡ください。
- 連絡先／静岡県国際交流協会（SIR）
- 電話番号／054-204-2000
- メールアドレス／sir07@sir.or.jp

静岡県日本語ボランティアセミナー2020

1月13日(月・祝)静岡県男女共同参画センター「あざれあ」(静岡市)で開催しました。年に一度、県内外から地域日本語教育に関わるボランティアや多文化共生に関心のある方が集まり、外国人が抱えることばの問題をはじめ、様々な文化背景を持つ人たちと共に暮らす上で重要な視点や姿勢等について考えました。今年は、高校生や大学生など若い世代の参加者も多く、約260名が参加し、終日熱気にあふれたセミナーとなりました。

国内における日本語教育の動向 講師 北村祐人氏(文化庁国語課専門職)

日本で暮らす外国人は増加傾向にあり、国内における日本語学習者数は過去最高を迎え、2019年には「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」の改定や「日本語教育推進法」の公布・施行等、大きな変化がありました。日本語教育もさらなる推進が見込まれるため、北村氏から文化庁が実施する日本語教育事業や国としての今後の動向について解説いただきました。特に日本語教室がない地域における新たな日本語教室の開設事業や日本語教室に通えない外国人のためのITCを活用した日本語学習教材の開発、日本語教師や日本語学習支援者等の役割や資質・能力や今後の施策展開について具体的にお話をいただきました。これまで地域で暮らす外国人の日本語教育は民間のボランティア活動に支えられてきましたが、今後は行政施策として日本語学習の機会が提供されていく動きがあること、指導者においても求められる資質や資格等が明確になっていくこと等、国レベルで大きな動きがあることを確認しました。



基調講演『外国人支援』を超え、人と人の境界線を溶かす」

講師 渡部 カンコロンゴ 清花 氏 (難民と未来をつくるNPO法人WELgee代表)

渡部さんは、世界には様々な環境下で生活を営んでいる人がいるということ、日本社会の中でも制度や仕組みから漏れたために様々な困難を抱えながら暮らしている人たちがいるということをご自身の体験を通して知り、さらにバングラデシュでの活動等を経て現在の難民と社会を繋げる活動に従事されているという自己紹介をされました。

渡部さんの講演から浮かび上がる難民申請者は、普段、新聞や報道で聞く「難民問題」とは別の局面があり、制度の問題や外国人への見方、偏見など、多くのことを考えさせられました。まず、日本にたどり着いた難民は、紛争や迫害の恐れから故郷を離れざるを得なかった人たちのことで、私たちと変わらない、当たり前の日常を送っていた人たちであるということを確認しました。中にはさまざまなスキルや資格を持ち、希望を抱いて日本に来た人たちがたくさんいる一方で、日本の難民認定の基準の厳しさ、難民申請者に待ち受ける就労や在留資格の問題、日本社会の中での偏見や孤立など、日本で生活を営むためには様々な問題があるということを知りました。

渡部さんは、難民の若者たちが企業や社会で持ち味を発揮し、働けるように関係性を繋ぐ活動に従事されていますが、多様性が問われる現代に、「社会の問題」とも思われがちな難民問題の解決の糸口は国や制度だけでなく、私たち一人ひとりに問われている意識や見方の転換であるということにも気づかされました。



分科会A「新たな外国人労働者受入れと多民族・多文化共生社会」

講師 鳥井 一平 氏(特定非営利活動法人 移住者と連帯する全国ネットワーク 代表理事)

講義ではまず、2019年4月、改正入管法等が成立し、「特定技能1号・2号」が創設され、さらに入国管理局が出入国在留管理庁(入管庁)に格上げされるなど、外国人の受け入れにかかる動向は注目を浴び、日本社会は外国人労働者の存在なくして成り立たないという説明がありました。また、鳥井先生は「移民政策と異なる」として、場当たりの受け入れであることが多くの問題を生んでいることに警鐘を鳴らしました。さらに、鳥井先生が代表を務める「移住者と連帯する全国ネットワーク(移住連)」では、外国人労働者に寄り添って支援活動をしており、賃金未払い、解雇、労災、相次ぐ労働問題など、外国人からの深刻な相談に真摯に向き合い、「技能実習制度」の問題を多く扱っていることが紹介されました。

近年では、技能実習生に関する案件が多く、鳥井先生からは、暴力事件や300円の時給、労災隠し、セクハラ、妊娠による強制送還、健康問題、パワハラ、長時間労働など、驚くべき事例が多数紹介されました。実習生をモノ扱いするようなこの制度こそが、経営者が変貌してしまう根源であるとのことでした。

講義後半は、鳥井先生の「今後、オリンピック、パラリンピック開催国として、日本の使命は大きい。人材を、使い捨てにしない、させないこと、社会の担い手として、受け入れなければならない」という解説の後、参加者は「移民社会 多民族・多文化共生社会のいいところ」を3つ、「私たちが今できること」を3つ、グループになって意見を出し合いました。

最後に、鳥井先生から、「違いを尊重」「ひとりじゃない」「できることから始めよう」の3つの合言葉を教えていただき、外国人労働者の権利を守り、多文化共生社会を築くことは、日本人、外国人ではなく、豊かな社会を築くチャンスであると理解しました。



分科会B「静岡県で暮らす外国ルーツの子どもへの日本語支援」

講師 高畑幸氏(静岡県立大学教授)

発表者 石井千恵子氏(のびっこクラブみしま代表)、
谷澤勉氏(多文化共生を考える焼津市民の会「いちご」代表)、
西川一美氏(セントロ デエンシーノ ニッポ ブラジレイロ 日本語教師)

まず、高畑教授より外国人増加に至る社会的背景とその理由、静岡県における外国人住民の状況と特徴、子どもの状況について解説がありました。静岡県には約93,000人の外国人が暮らしていますが、年々家族滞在の傾向が高まり、公立学校に在籍し日本語指導を必要



とする子どもの数も3,000人を超え、全国で4番目です。また、県内には9校の南米系外国人学校があり、1,000人を超える子どもたちが在籍しています。高畑教授は、日本の教育制度の年齢主義、義務教育の対象とされる子どもの定義等は、グローバル化している現代において制度から漏れてしまう子どもたちを生み出してしまうことを解説しました。そして、国籍条項により外国籍の子どもたちが将来できる仕事には制限がある等の問題を提示しました。

次に、地域で外国につながる子どもたちの支援をしている3名からそれぞれの立場で課題となっていることをお話いただきました。三島市で活動する石井さんからは、近年増加している学齢超過の子どもを中心に、高校進学や精神的なサポートの重要性についてお話いただきました。焼津市で活動する谷澤さんからは、中高生を含むボランティアが多数参加し、宿題を手伝ったり、レクリエーションを通して子どもたちと交流を図ったりする活動を通して、外国につながる子どもたちと日本語話者との自然な触れ合いや日本語でのやりとりが行われる様子が紹介されました。菊川市にあるブラジル人学校の日本語教師である西川さんからは、日本語レベルがバラバラの生徒たちがどうやって日本の文化に関心をもち、日本語学習に対する意欲を高められるか、その難しさや優良事例について語られました。

最後は、グループごとに参加者で意見交換をしました。外国の子どもが地域で日本語話者と多くの接点をもつような取り組みの広がり、日本語だけでなく、母語・母文化支援の必要性、保護者支援の重要性等について多くの意見が出されました。

分科会C「対話活動を通して楽しく日本語支援をしよう」

講師 武田 由美 氏（公益社団法人 国際日本語普及協会所属日本語教師）

分科会Cでは「対話活動を通して楽しく日本語支援をしよう」をテーマに、外国人への日本語支援について解説していただきました。講師の武田先生は、留学生や外交官、外国人会社員に日本語を教えている現役の日本語教師です。学習者が会社員であれば、日本語だけではなく日本のビジネスマナーと併せて教える必要があり、子どもであれば、無声のアニメや映画を見ながら会話を想像し、対話する方法も有効、というように、学習者の立場によって必要な日本語支援が異なるというお話がありました。

続いて、身近にあるものを教材とする方法の紹介がありました。先生は、日本に住み日本語教室に通っている学習者に、生活の中で理解できずに困った看板や注意書きなどを写真に撮ってきてもらい、授業の教材にしているとのこと。日本人には当然のように理解できる「立入禁止」の看板も外国人にとっては「立って入れない？座ったら大丈夫？」と聞いてきたり、「化粧室」と書いてあってもそれがトイレと結びつかなかったり、具体例を挙げながら、身近なものを教材とすることで日本語と同時にそれぞれの学習者に応じた日本の生活もサポートできるとお話いただきました。

後半のワークショップでは、受講者同士グループとなって、スーパーマーケットのチラシや新聞の折り込み広告などを利用して「買い物に行く」という場面ですぐに使える教材作りを行いました。チラシを用い、外出～買い物～食事の流れをすごろくに、ゲーム形式で学べる教材を作成したグループもあり、それぞれ工夫を凝らして取り組んでいました。

その他にも武田先生が実際に日本語を教えてこられた経験からの多くの事例、おすすめできる市販のテキスト、インターネットからダウンロードできる教材の紹介や利用のコツに至るまで幅広い内容を解説していただき、受講された皆さんは熱心に耳を傾けていました。



いつか世界を
変える力になる。

* JICAからのお知らせ *



JICA海外協力隊 2020年 春募集が始まりました！

* 応募期間 *

2020年2月20日（木）～ 3月30日（月）正午まで

JICA海外協力隊は、開発途上国が抱える課題に対して、現地の人々と共に課題解決に取り組むことを目的としています。これまで世界98か国に5万人以上の隊員を派遣してきました。静岡県内からも、これまで1,700名以上の隊員が派遣されています。

自分の持っている知識や技術を生かして、協力隊に参加してみませんか？

詳細は、JICA海外協力隊HPをご確認下さい。皆様のご応募、お待ちしております！

写真展の開催情報

現地で活動する隊員の様子を
ぜひご覧下さい。
各会場で募集要項を配架します。



静岡市役所葵区役所
JICA海外協力隊 写真展

2020年3月9日（月）～ 19日（木）

時間：8時30分～17時15分（土日休館）
場所：静岡市役所葵区役所 新館1階（静岡市葵区追手町5-1）
内容：JICA海外協力隊の活動写真を多数展示します。

静岡県立中央図書館 JICA海外協力隊 写真展
Be with you 2020 あなたと、ともに。

2020年2月20日（木）～ 4月17日（金）

時間：9時～17時（水～金曜日は19時まで）

※休館日 3/2、16、30、31、4/1、6

場所：静岡県立中央図書館 インフォメーションホール
（静岡市駿河区谷田53-1）

内容：JICA海外協力隊の活動写真の他、途上国の暮らしが分かる小物や楽器、民族衣装の展示を行います。

お問い合わせ：

■ 春募集に関して：JICA海外協力隊募集事務局

☎042-404-5021、✉contact@jocv.info

■ JICA静岡県デスク（静岡市駿河区南町14-1水の森ビル2階）

☎054-202-0931、✉jicadpd-desk-shizuoka@jica.go.jp



チアゴ・フェルナンド さん

ブラジル・ミナス州出身

ブラジル・ミナス州出身のチアゴ・フェルナンド さんは、日本に留学した1年のほかに今回静岡県の国際交流員として2度目の来日をし、10か月になります。

母国語であるポルトガル語、日本語、英語、スペイン語、フランス語、ヘブライ語の6か国語を話す国際人であるチアゴさんは日本語を自由に使いこなし、すっかり静岡人として、もう何年間も静岡に住んでいるかのようなブラジル人です。

日本に来たきっかけは？

子供のころ、アニメの『聖闘士星矢』（セイントセイヤ）をテレビで見っていました。

あるとき公務員であった父は出張のみやげとして、そのキャラクターのモデルを買ってきてくれました。そこにはなにやら、まったくわからない言葉での説明書が添えてありました。それは日本から輸入されたモデルで、日本語で説明が書いてあることが後でわかりました。それがきっかけで日本に興味を持ち、日本語を勉強し始めました。

日本語を勉強したことが役に立ち、ブラジルの首都ブラジリアの日本大使館で働く機会に恵まれました。



日本に来る前の日本のイメージ、その後の実際のイメージはどのように変わりましたか？

日本は工業が発展していて、独自の伝統、文化があり社会の規律ということが行き届いているということは知っていましたが、日本における、部活、掃除、約束、時間を守る…など細かな点まできめ細かく規律をもってやっていることを改めて実感しました。それは長い間の伝統・文化の表れであり、いいことだと思います。

ブラジルにはブラジルの考え方があって、生活するうえで困ることはありますか？

例えば、日本人は列をきちんと作って並びます。ブラジルでは、列を作って並ぶことはあまりしません。列の長い後ろにならんで、順番にサービスを受けるということは日本では当たり前のこととして誰もが受け入れています。ところがブラジルではどうしたら早くサービスを受けられるかそれぞれが考えます。そして、早くサービスを受けられた人が、早く出世していくという文化です。

少し誤解があるかもしれませんが、ルールで順番を決めるというよりも、どのようにしたら、早くサービスを受けられるか、それによってその人の能力が図られるという面があります。日本人からみたら、おかしいと思うでしょう。それが、伝統や文化の違いが現れるところです。

チアゴさんは、多文化共生課という部署に所属していますね。なぜ、多文化の共生が必要なのでしょう？

多文化共生ということ、多文化を理解することはそんなに簡単ではないということを意味しています。その国に長く住んでいれば、まわりの人が思うこと、考えていることが雰囲気として理解できます。しかし、異なった背景を持った人には理解はしても受け入れることはむずかしくなります。

異なった考えを理解し、受け入れることはそれほど簡単ではありません。

日本で建前と本音という言葉があります。これはおそらく、日本独特のものかもしれません。言っていることと、実際の気持ちとが異なる。そこには伝統・文化の背景があるからです。

グローバル化により、世界は人、モノ、情報などさまざまなかたちでつながっています。相互の関係をスムーズに行っていくためには、ルールが必要ですが、ルールがあればうまくいくというものでもありません。異なったものを受け入れられることが必要です。

世の中の発展の仕方は、その違いの中から発展が促進されるといえると思います。

政治的・社会的な意見の違いを調整することや、科学技術の異なった視点からのアプローチなど、それらは同質な人々の中だけでは生まれにくく、また遅れてしまいがちになります。

チアゴさんは自分の将来にどういう展望をもっておられますか？

日本には私のような人間には様々なところで働くチャンスがあると感じています。

日本は様々な働くチャンスがありますし、社会がそのような仕組みになっていることは素晴らしいことです。日本といってもさまざまな側面があります。地方はいろんなかたちで、特色を出しています。そのような地方の発展から、国全体が発展していくという可能性がいっぱいあると思います。

ありがとうございました。 大いに日本で活躍してくれることを願っております。

記：編集ボランティア 池田 昌弘

世界をつなぐオレンジネット

今では、静岡にゆかりのある皆さんが、世界の国々で活躍しています。「世界をつなぐオレンジネット」のコーナーを開設し、インターネットにより海外の県人会やグループから送られてきた、生活や活躍の様子を伝えるコメントや写真を紹介します。

そして、「世界をつなぐオレンジネット」がきっかけとなり、世界の皆さんと双方向の新しい情報交換や交流が始まることを期待しています。

今回はペルー県人会からのお便りです。



みなさん、こんにちは、ペルー静岡県人会 会長 深澤 宗昭（ふかさわ むねあき）です。ペルーで行なわれている色々なイベントについて情報発信します。

ペルー静岡県人会 深澤会長が、ブラジル静岡県人会を2月に訪問しました。

ブラジル静岡県人会原会長及び役員の皆様とお会いし、いろいろなお話を聞きました。

これからも両県人会の友好を温めようと話しました。



国際交流・イベント情報の募集

SIR JOY Pressの情報欄に掲載する情報を募集しています。掲載希望の方は、必要事項をご記入のうえ、事務局までお送り下さい。締め切りは、掲載を希望する前月の10日までが目安です。

寄付をお願いします。

当協会では、国際交流活動に関わる方々（NPOなど）を支援するため、県民の皆様より寄付を募っております。さらに充実した活動を実現させていくために、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

●一口：1,000円（何口でも結構です）

●寄付をいただいた方

Zhuxing様

幹事さんラクラク。
団体のお客様大歓迎。

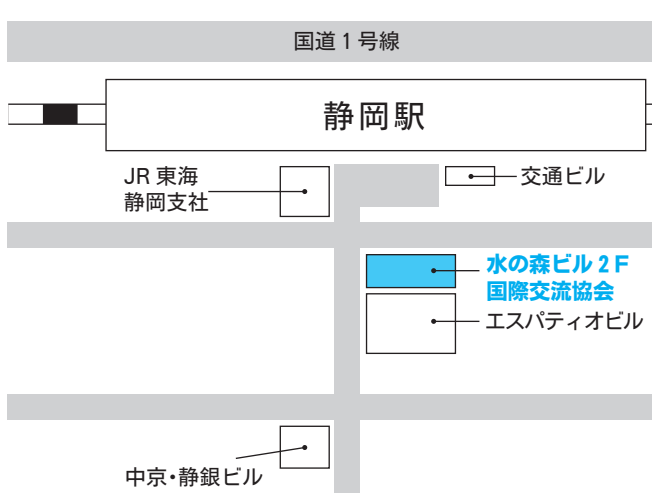
食べ放題! 飲み放題!

通常¥6,000のところ▼
お一人様 ¥5,000

※4名様以上のご利用対象
※Xmasweek、年末年始などプラン適用外期間もございます

早期ご予約で 20名様以上のご利用で 1名様分無料!

THE TABLE 山田屋 山田屋
ご予約 054-289-6410 | 山田屋 山田屋
お問合せ



SIR JOY Press 第259号 2020年3月1日発行

発行/公益財団法人 静岡県国際交流協会
〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2F
TEL 054-202-3411 FAX 054-202-0932
http://www.sir.or.jp/ E-mail info@sir.or.jp 印刷/池田屋印刷株式会社
この情報誌は再生紙を使用しております。

